

「あおもり産学官金連携Day 2018」への出展及び相談会の実施

- 1 日 時 平成30年10月23日（火）12:00～17:00
- 2 主 催 イノベーション・ネットワークあおもり
- 3 場 所 アートホテル弘前シティ プレミアホール
- 4 支援員 鈴木 壯兵衛 弁理士、上野 大輔 弁理士、角田 世治 弁理士
- 5 内 容

「あおもり産学官金連携Day」は、青森県の産学官金の連携を推進し、新産業・新事業の創出と青森県内ものづくり産業の発展を図ることを目的に毎年開催されている催しです。今回は弘前市で開催され、県内外の企業等、大学や公設試験研究機関など51企業・団体によるブース出展のほか、知的財産に係る基調講演や技術シーズの紹介、首都圏企業と出展企業等との技術マッチング等が並行して行われました。なお、主催者である「イノベーション・ネットワークあおもり」は、青森県知事を代表者とし、事務局を青森県新産業創造課とする、青森県内の横断的な産学官金のネットワークです。

日本弁理士会東北支部は、東北経済産業局、青森県知的財産支援センターら関係機関と共に研究支援機関のコーナーに出展しました。今年のブース出展は、産学官金連携をより強く進めるため例年より研究支援機関コーナーが拡充され、参加者を事前に募り希望のブースを巡るマッチングツアーが行われました。2回行われたマッチングツアーでは、当支部のブースにのべ15名以上が訪れました。鈴木会員により、弁理士の紹介、知的財産権取得の重要性、当支部の様々な支援活動が説明され、ツアー参加者は熱心に聞き入っていました。

会場で寄せられた相談は、計4件でした。来場者からの相談だけではなく、他の出展企業との会話から発展した相談や、関係機関からの紹介による相談もありました。会場では様々な支援機関がブース出展し相談を受け付けており、その中で知的財産の専門家として当支部が出展し相談会を実施することは、各支援機関が連携して横断的な支援を相談者に提供することに繋がり、有意義であったと考えます。

会場は多数の来場者で賑わっていました。また、本年は、知的財産に関わる講演・マッチングイベントが同時に行われ、知的財産権の重要性を多くの来場者が肌で感じる事ができる中での出展となりました。今回の当支部の出展は、知的財産権制度の普及・啓発、弁理士の認知度向上、関係機関との連携強化に寄与するものであったと思われま

文責 日本弁理士会東北支部 鈴木・上野・角田



当支部のブース



マッチングツアー参加者への説明